

# 解 説

## I 登録人口による人口動向

### 1 概 要

平成19年1年間の人口増加数は1356人となり、平成18年の人口増加数2289人に比べ933人減少しました。その内訳は、自然増加数が2856人（対前年100人の減少）、社会増加数が△1500人（対前年833人の減少）となり、昨年に引き続き人口流出の状態となっています。平成19年末の登録人口は101万7967人でした。（図1、表1、統計表第1表）

図1 人口増加数の推移（平成10年～19年）

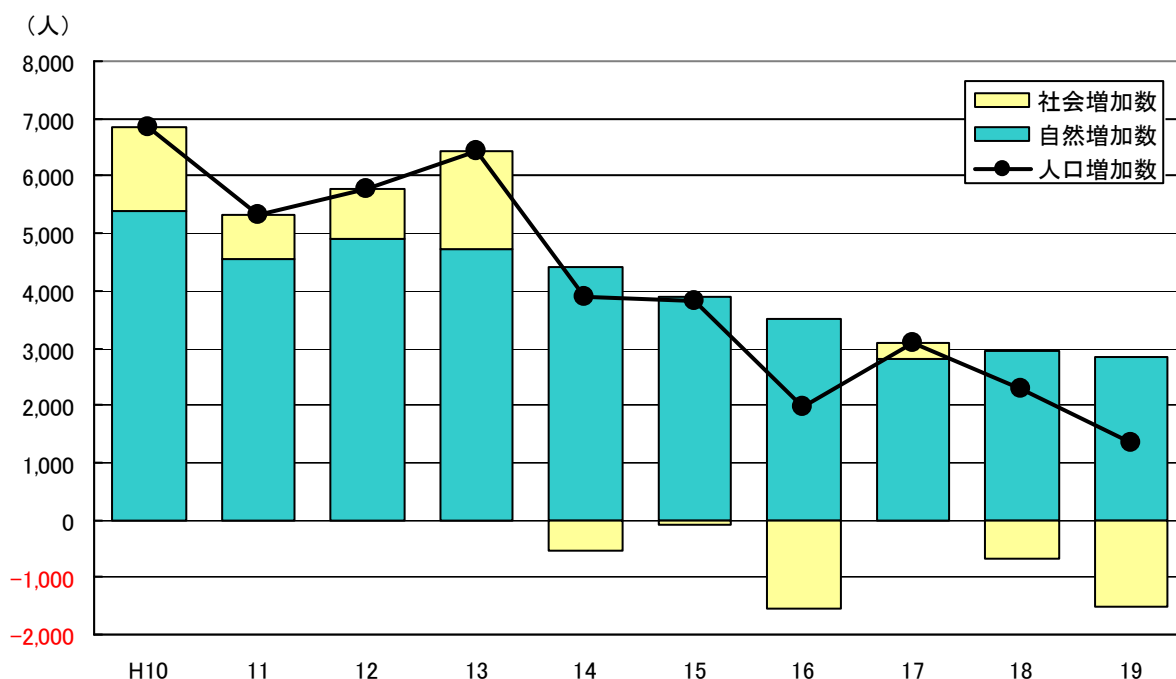


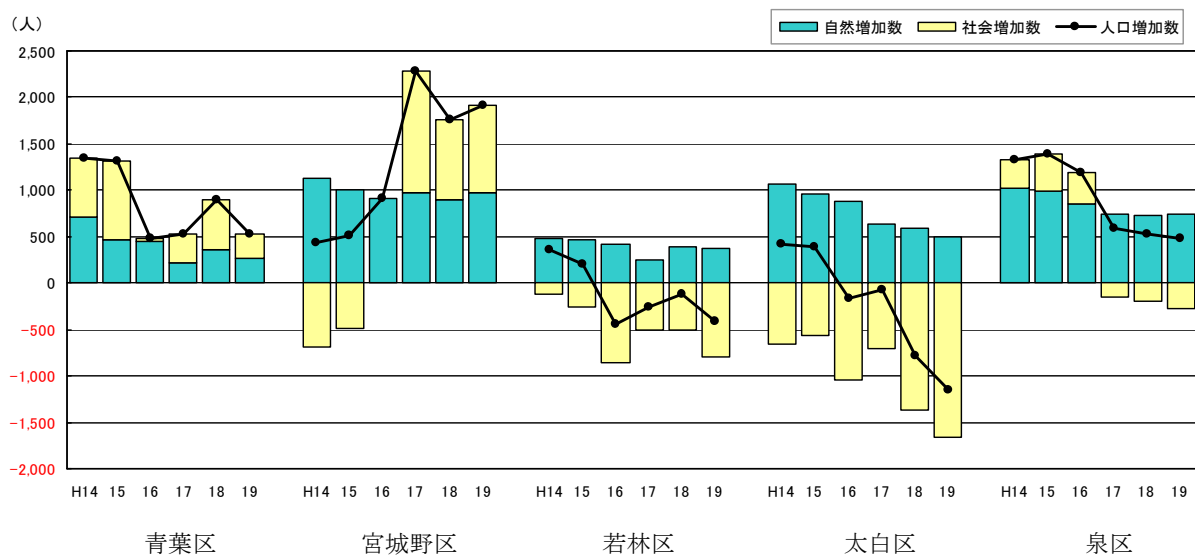
表1 登録人口の推移—全市、区（平成14年～19年）

年次	各年末(単位:人)							
	仙台市	青葉区	うち 宮城総合 支所	宮城野区	若林区	太白区	うち 秋保総合 支所	泉区
平成14年	1,005,471	271,636	61,608	176,296	128,495	222,420	4,830	206,624
15	1,009,274	272,944	62,424	176,803	128,706	222,804	4,813	208,017
16	1,011,249	273,430	63,176	177,721	128,257	222,632	4,772	209,209
17	1,014,322	273,952	64,392	180,007	127,998	222,564	4,726	209,801
18	1,016,611	274,843	65,498	181,774	127,879	221,783	4,661	210,332
19	1,017,967	275,377	66,499	183,682	127,466	220,628	4,674	210,814

区別の動向をみると、若林区と太白区では人口が減少、青葉区と宮城野区、泉区では人口が増加しました。特に宮城野区は前年の増加数を上回る一方、太白区では過去6年間で最も大きな減少幅となりました。

増加数が最も多かったのは宮城野区の1908人（自然増加数967人、社会増加数941人）で、以下、青葉区の534人（自然増加数259人、社会増加数275人）、泉区の482人（自然増加数749人、社会増加数△267人）、若林区の△413人（自然増加数378人、社会増加数△791人）、太白区の△1155人（自然増加数503人、社会増加数△1658人）でした。（図2、表1、統計表第1表）

図2 人口増加数の推移－区（平成14～19年）



## 2 自然動態

過去10年間の自然増加数の推移をみると、出生数は1万人台から9千人台へと減少したものの最近2年間は増加の傾向となっており、死亡数は5000人台から6000人台後半へと増加の傾向となっています。平成19年の出生数は前年より81人増加して9572人、死亡数は前年より181人増加して6716人となったことから、自然増加数は2856人となり、平成18年の2956人に比べ100人減少しました。（図3、統計表第1表）

区別の動向をみると、出生数が宮城野区、若林区、泉区で前年より増加した一方、死亡数も、泉区を除く各区で前年より増加しました。

自然増加数が最も多かったのは宮城野区の967人（出生数2166人、死亡数1199人）で、以下、泉区の749人（出生数1837人、死亡数1088人）、太白区の503人（出生数2044人、死亡数1541人）、若林区の378人（出生数1282人、死亡数904人）、青葉区の259人（出生数2243人、死亡数1984人）でした。（図4、統計表第1表）

図3 自然動態の推移—全市（平成10年～19年）

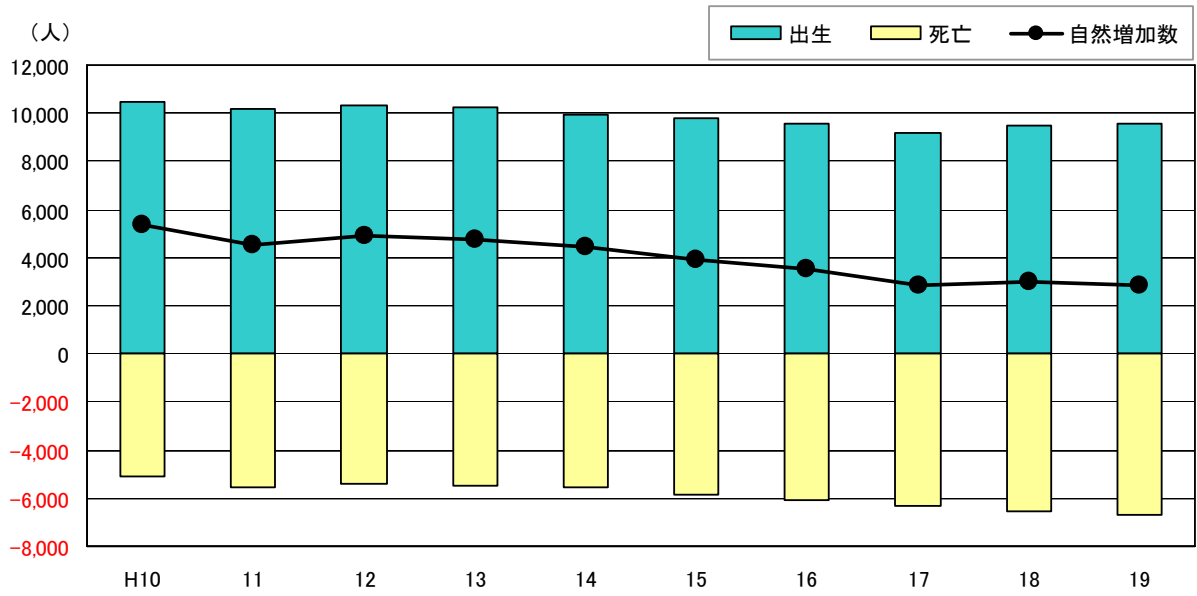
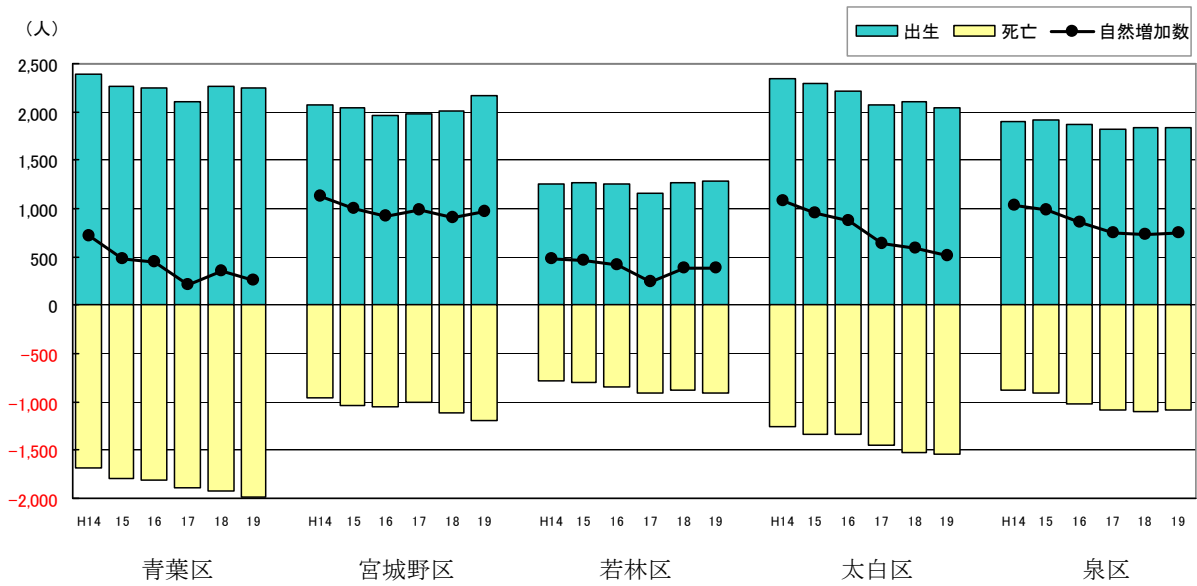


図4 自然動態の推移—区（平成14年～19年）



### 3 社会動態

過去10年間の社会増加数の推移をみると、県外・国外移動において減少の傾向が強くなっています。特に、県外・国外からの転入数の減少が大きく、4万5296人（平成10年）から3万8539人（平成19年）と約6800人の減少となっています。

平成19年の転入数は7万3328人で前年より1755人減少する一方、転出数も7万4808人と前年より874人減少しましたが、その他増加数を加えた社会増加数は△1500人となり、過去10年間で、2番目の社会減（転出超過）となりました。

区別の動向をみると、県内移動では若林区と太白区で転出超過、他の3区では転入超過となりました。県外・国外との移動については、宮城野区のみ転入超過となり、他の4区では転出超過となりました。

社会増加数が最も多かったのは宮城野区の941人（転入数1万5687人、転出数1万4863人、その他増加数117人）で、以下、青葉区の275人（転入数2万2520人、転出数2万2049人、その他増加数△196人）、泉区の△267人（転入数1万3267人、転出数1万3545人、その他増加数11人）、若林区の△791人（転入数8954人、転出数9748人、その他増加数3人）、太白区の△1658人（転入数1万2900人、転出数1万4603人、その他増加数45人）でした。（図5、統計表第1表）

図5 社会増加数の推移—全市、区（平成14年～19年）

